

林業、企業との連携、地産地消、荒廃農地対策、教育機関との連携、関係人口創出

竹林整備と竹林の活用で関係人口創出

活動の経緯

市原市、いすみ市などで活動している方々と連携して開催した「地域の人々と考える森林・竹林の活かし方 シンポジウム」を契機に千葉県内での竹林の活用に取り組む。

活動の概要

平成27年度に『地域の人々と考える森林・竹林の活かし方 シンポジウム』を開催されたことを契機に、竹林整備を中心に、タケノコの生産、幼竹から作る国産メンマの製造、バイオプラスチック及び竹炭への活用を行うほかNPO竹もりの里と協力してイベントなどを実施。



タケノコ堀の様子



竹炭づくり

活動の成果、主な実績等

○竹林整備は高等学校、幼稚園、発達支援放課後等デイサービス施設、千葉県内各地の里山活動団体、東京のNPO団体と連携して実施しており、令和4年度は300人が竹林に来場し、150人が竹林整備に参加。

○国産メンマ用幼竹の生産量は、平成30年度の1本から令和4年度の20本に増加。

○竹林内に自生しているサカキを栽培。今後枝ものとして販売を目指す。

○竹林での活動は、NHK、テレビ東京、テレビ朝日、ちばテレビ、日本経済新聞、千葉日報などで紹介されている。